

新岡山県環境基本計画(エコビジョン 2020)の 令和 2 (2020) 年度達成状況について

岡山県環境基本条例に基づく、環境の保全に関する総合的な計画である新岡山県環境基本計画の令和 2 (2020) 年度達成状況の概要は次のとおりである。

1 計画の概要

(1) 期 間 平成 20 (2008) 年度～令和 2 (2020) 年度

(2) 内 容

ア 計画の目指すべき姿(令和 2 (2020) 年度)

より良い環境に恵まれた持続可能な社会

イ 基本目標(※括弧内は主要施策・重点プログラムの合計)

①地域から取り組む地球環境の保全(31)

②循環型社会の形成(27)

③安全な生活環境の確保(31)

④自然と共生した社会の形成(20)

ウ 推進目標(※括弧内は主要施策・重点プログラムの合計)

① 参加と協働による快適な環境の保全(25)

② 環境と経済が好循環する仕組みづくり(21)

2 令和 2 (2020) 年度達成状況

主要施策・重点プログラム達成レベル(目標年次は令和 2 (2020) 年度)

区 分		達成レベル別 主要施策・重点プログラム数					平均
		1	2	3	4	5	
目 基 標 本	① 地域から取り組む地球環境の保全	1	3	19	5	3	3.19
	② 循環型社会の形成	0	4	15	8	0	3.15
	③ 安全な生活環境の確保	0	2	23	5	1	3.16
	④ 自然と共生した社会の形成	0	3	17	0	0	2.85
目 推 標 進	① 参加と協働による快適な環境の保全	0	2	19	3	1	3.12
	② 環境と経済が好循環する仕組みづくり	0	6	12	2	1	2.90
全体		1	20	105	23	6	3.06

※「達成レベル」：1 目標水準を大きく下回った 2 目標水準を下回った 3 概ね目標水準
4 目標水準を上回った 5 目標水準を大きく上回った

目標水準を達成した「達成レベル」3以上の主要施策・重点プログラム数は全体の86.4%を占め、概ね目標を達成した結果となった。

3 代表的な指標等の達成状況

別表のとおり

4 今後の進め方

- 岡山県環境審議会で専門的見地から今回の達成状況に対する助言をいただき、目標水準に達していない主要施策・重点プログラムについては、その助言を踏まえて、取組方法等を検討するなど、成果や課題を反映させ、今年度からスタートしている岡山県環境基本計画（エコビジョン 2040）の推進につなげる。
- 成果や課題の反映にあたっては、協働の場である「エコパートナーシップおかやま」などを通じて、県民、事業者、市町村等と計画の目標、進捗状況、課題等を共有するとともに、参加と協働による計画の推進を図る。

代表的な指標等の達成状況

基本目標① 地域から取り組む地球環境の保全

主要施策

地球温暖化対策

- 太陽光発電の導入促進
- 小水力発電の導入促進
- バイオマスエネルギーの利用拡大
- 新エネルギーの普及啓発等
- 建築物等の省エネルギー化の促進
- 産業・事業活動における省エネルギーと温室効果ガス排出抑制の推進
- 省エネルギー型ライフスタイル・ビジネススタイルの定着促進
- 省エネルギー住宅・省エネルギー型機器等の普及拡大

- 地産地消の推進
- 低公害車の導入促進
- 公共交通機関等の利用促進
- 交通円滑化の推進
- フロン類対策の推進
- 森林の保全
- 都市の緑化推進

酸性雨対策

- 硫黄酸化物・窒素酸化物の排出抑制

項 目	策 定 時 (H25(2013))	現 況 (H29(2017))	目 標 (R2(2020))
製造品出荷額当たりのエネルギー消費量 (G J / 百万円)	83.7	75.8	83.2
業務その他部門の床面積当たりのエネルギー消費量(M J / m ²)	795	736	763
1世帯当たりのエネルギー消費量 (G J / 世帯)	37.4	29.8	35.9
自動車1台当たりのエネルギー消費量 (G J / 台)	38.8	36.4	37.7

基本目標② 循環型社会の形成

主要施策

3 R の推進

- 循環型社会に向けたライフスタイルの変革
- 循環資源情報の提供
- 一般廃棄物の3 R の推進
- 産業廃棄物の発生抑制
- 循環資源の利活用推進
- 岡山エコタウンプランの推進

グリーン購入等の推進

- グリーン購入等の推進

廃棄物の適正処理の推進

- 産業廃棄物の適正処理の推進
- 一般廃棄物の適正処理の推進
- 不法投棄の根絶
- 広域的な移動に対する対応
- 災害廃棄物に対する備え

項 目	策 定 時 (H17(2005))	現 況 (R1(2019))	目 標 (R2(2020))
一般廃棄物の排出抑制・資源化率(%)	90	96.1	96
産業廃棄物の排出抑制・資源化率(%)	93	96.1	96

基本目標③ 安全な生活環境の確保

主要施策

大気環境の保全

- 環境に配慮した自動車運転等の推進
- 低公害車の導入促進《再掲》
- 公共交通機関等の利用促進《再掲》
- 交通円滑化の推進《再掲》
- 大気汚染防止対策の実施
- 悪臭被害の防止

水環境の保全

- 生活排水対策
- 河川等の保全対策の推進
- 湖沼水質保全対策の推進
- 瀬戸内海の保全と再生
- 森林の保全《再掲》

騒音・振動の防止

- 道路交通騒音・振動、航空機騒音、新幹線鉄道騒音・振動対策
- 騒音・振動の規制

土壌・地下水汚染対策

- 土壌・地下水汚染の防止

有害化学物質対策

- 有害化学物質による環境汚染の防止
- アスベスト対策の推進

環境放射線の監視

- 環境放射線の監視

環境コミュニケーションの推進

- 環境コミュニケーションの推進

項 目	策 定 時 (H18(2006))	現 況	目 標 (R2(2020))
児島湖の水質(COD)(mg/L)	8.0	8.1 (R2(2020))	6.8
自動車保有台数に占める低公害車(※)の割合(%)	—	58.4 (R1(2019))	46

※天然ガス自動車・電気自動車・ハイブリッド自動車・メタノール自動車・燃料電池自動車
・低排出ガス認定かつ低燃費自動車を指す。

基本目標④ 自然と共生した社会の形成

主要施策

豊かな自然環境の保護

- 自然公園等の保護
- 自然との調和に配慮した事業活動

野生生物の保護

- 希少野生動植物の保護
- 野生鳥獣の保護・管理
- 移入種等の対策

自然とのふれあいの推進

- 自然環境学習等の推進
- 自然とのふれあいの場の確保

水とみどりに恵まれた環境の保全とみどりの創出

- 水辺環境の保全と創出
- 森林の保全《再掲》
- 里地・里山の保全
- 身近なみどりの創出

自然との共生おかやま戦略の推進

- 自然との共生おかやま戦略の推進

項 目	策 定 時	現 況	目 標 (R2(2020))
希少野生動植物(条例指定等)の保護に取り組む地域数(地域)	4 (H18(2006))	11 (R2(2020))	12
自然公園利用者数(万人)	1,234 (H17(2005))	1,153 (R1(2019))	1,450

推進目標① 参加と協働による快適な環境の保全

主要施策

協働による環境保全活動の促進

- 環境保全団体等との協働
- 県民総参加による取組の推進

環境学習の充実

- 実践につながる環境学習の推進
- 協働で取り組む体制の充実
- 学校教育における環境教育の推進

景観の保全と創造

- 県土岡山の景観形成の推進

項 目	策 定 時 (H27(2015))	現 況 (R2(2020))	目 標 (R2(2020))
環境学習出前講座の協働実施回数(回)	324	336	300以上
環境学習エコツアー参加者数(人、累計)	43,499	57,371	60,000
景観行政団体の数(市町村)	8	9	10

推進目標② 環境と経済が好循環する仕組みづくり

主要施策

グリーン成長の推進

- 新エネルギーの推進
- 環境等関連分野の産業の振興
- 環境と好循環した農林水産業の振興
- グリーン購入等の推進《再掲》
- 省エネルギー住宅・省エネルギー型機器等の普及拡大《再掲》

環境に配慮した事業者の育成・拡大

- 環境マネジメントシステムの普及拡大
- CSR(企業の社会的責任)活動の普及
- 環境保全のための費用負担意識の普及

環境影響評価の推進

- 環境影響評価の適正な実施

項 目	策 定 時 (H27(2015))	現 況 (R2(2020))	目 標 (R2(2020))
循環型産業クラスターで開発された製品の数(件、累計)	12	27	17
岡山県エコ製品の認定品目数(品目、累計)	350	369	352
岡山エコ事業所の認定件数(件、累計)	264	244	285
エコアクション21認証・登録事業者の数(事業者、累計)	79	102	200